

2026年3月14日

JAILA会員の皆様

JAILA Journal 編集委員会
委員長 内山 八郎
副委員長 坂本 南美
久世 恭子
Anna-Maria HATA

JAILA Journal 第13巻の原稿募集について

JAILA Journal 第13巻の原稿募集の案内をさせていただきます。会員の皆様からの論文投稿をお待ちしております。ぜひ投稿をご検討ください。

1. 論文の種類について

投稿論文の種類については下記の3つとなっております。もしご不明の点や質問等がございましたらJAILA事務局までお問い合わせください。

(1) 研究論文

先行研究から研究課題を見出し、①研究上の問いや仮説について検証可能な方法で研究し、結果・考察・結論を提示するもの（実証研究）。または、②理論的な考察や批判的な論評を行い、新たな考え方や概念などを提案するもの（理論研究）。いずれも引用やデータの提示方法が適切、かつ論理展開が明確で、学術論文としてふさわしいものとする。

(2) 研究ノート

教育実践や研究活動に有益な調査内容を資料として提供し、今後の研究や教育実践を発展・活性化させる契機となりうる知見や問題提起を含むものとし、必ずしも結論は含まなくてもよい。カリキュラムの紹介、実践報告、論考、研究分野のレビュー等を含める。

(3) 寄稿論文

日本国際教養学会が主催または共催したシンポジウム、および講演の内容に基づいた内容の論文とする。寄稿の依頼はJAILA Journal 編集委員会が行う。

2. JAILA Journal 第13巻発行手順

下記の日程で発刊予定です。皆様からの原稿をお待ちしております。なお原稿は必ず6月ごろに公開されるテンプレートをご利用して作成ください。

2026年6月：テンプレート公開

2026年11月20日(金)：論文提出締め切り

事務保管用完成原稿（所属・著者名を明記したもの）と査読用原稿（所属・著者名を削除したもの）をPDFファイルで作成し、JAILA事務局（office@jaila.org）までメールで提出してください。投稿申込用紙を必ず一緒にご提出ください。

2026年12月31日（木）：査読終了

2027年2月28日（日）：修正原稿提出

2027年3月：JAILA Journal 第13巻発刊

3. 「書評」について

近年、会員の皆様から出版物を学会へ寄贈していただける機会が増えて参りましたことを受け、そういった様々な出版物を対象に、第7号より「書評」の掲載を開始させていただくこととなりました。会員の皆様が日頃の研究成果をご出版の折には、是非 JAILA Journal 編集委員会への寄贈もご検討いただきたく、心よりお願い申し上げます。